

三猿文庫 集

平市公報

第廿二號

昭和十五年一月十五日

新年祝賀式舉行

紀元二千六百年元旦奉祝會は一月一日午前十一時市公會堂に於て左記順序に依り舉行會員一千四名參集伊藤助役開式の辭に次で國歌齊唱、宮城遙拜黙禱、誓詞、市長年頭の辭に次ぎ會員野崎市會議長の祝詞、菅間判事の發聲にて萬歳三唱嚴肅裡に式を閉ぢ次で冷酒を酌み相互祝意を表し正午散會したり、當日祝賀式に於ける誓詞及市長年頭の辭左の如し

式順

- 一、會員着席
- 一、會式の辭
- 一、國歌齊唱
- 一、宮城遙拜
- 一、黙禱
- 一、誓詞 (市長)
- 一、年頭の辭 (市長)
- 一、會員祝詞
- 一、萬歳奉唱
- 一、閉式
- 一、開式

新年誓詞

こゝに昭和十五年の元旦を迎へ 恭しく 聖壽の萬歳をことほぎ奉り 愈々肇國の精神を顯揚し強力日本を建設して 新東亞建設の聖業完遂に邁進し以て紀元二千六百年を光輝ある年たらしむ ことを堅く御誓ひ申します

年頭ノ辭

旭日天に輝き戰捷の瑞氣地に滿ち與亞大業建設の光輝ある紀元二千六百年の新春を迎へ茲に恭しく聖壽の無窮を壽ぎ奉り竹の園生の彌榮を仰ぎ奉るは吾等臣民の齊しく無上の慶福とする所でありまして市民各位と一堂に相會し祝賀の式を行ふことは不肖の筈に光榮とする所であります 伏して惟みるに神武天皇肇國の基を奠め給ひてより悠久二千六百年國史の成跡は炳として日星の如く歴代聖天子御遺緒を繼ぎ萬民を撫育し給ひ吾等祖先亦忠勤を勵み金匱無缺の國體を擁護し奉り國運年と共に隆昌 皇徳六合に洽く國威八紘に輝きますことは吾等皇國民の最も誇りとする所であります 白すも畏きことながら 天皇陛下に於かせられましては御乾徳愈高く御健かに渡らせられ殊に事變以來政務御多端夙夜萬機をみそなはせられ與亞の

天業に御軫念遊はされ皇后陛下には御坤德淑かに倍々御仁慈を垂れさせ給ひ戦傷病者の身上、出征軍人の遺家族に對し常に御心を注がせられますこととは洵に恐懼感激の極みであります 吾等は一層忠誠の念を深くし義勇奉公渾身の努力を捧げ以て宸襟を安んじ奉るの覺悟を堅くするものであります

聖戰茲に第四年を迎へ我が忠勇義烈なる皇軍の嚮ふ所敵なく今や中南北支の重要據點を盡く我が掌中に收め以て抗日蔣政權をして地方の一致權たらしめ僅かに餘命を保つ窮狀に陥れ加ふるに昨夏勃發せる歐洲動亂は英佛ソ聯の蔣政權援助に一大痛撃を與へ更に汪兆銘を中心とする新支那中央政權運動を繞り東亞の新秩序建設に向つて現實の一步を進めましたことは事變處理の新段階に入りたるものと謂ふべく、斯の如き戰績を收め威武を外に宣揚したるは長く多くも大御稜威の然らしむる所なるは勿論我が皇軍の偉勳に對し感謝感激に堪えざると共に第一線の將士各位が砲煙彈雨の中克く炎熱に耐へ酷暑を冒し凡有る困苦缺乏を忍び時に惡疫瘴癘と戦ひ萬難を排して一死君國に捧げ護國の神と崇めらるゝ幾多無言の凱旋勇士の英靈に對し將た又白衣の勇士に對し衷心より默禱感謝を捧げ其の忠烈と勞苦を想ふ時吾等は征席の上に晏如たるを得ざるは云ふまでもなく將來益皇軍將兵の慰問に銃後の護りに一段と努力精進し後顧の憂なからしむるは銃後吾々國民の責務であると確信するものであります

而して時局は長期建設たる東亞新秩序の確立に向つて堂々たる進軍を開始せられました、即ち容共抗日蔣政權を打倒潰滅し新政權の誕生育成を促進し共存共榮の精神に基き日滿支を樞軸とする東洋民族大同團結の下に相互善隣友好共同防共經濟提携を實現し以て東亞永遠の和平體制を確立するにありと信じます、之がため我政府は歐洲戰亂に介入せざるを聲明し興亞委員會を組織し専ら事變處理を第一義とし邁進しつゝあるものであります されば紀元二千六百年は此の興亞の大業に燦然たる光輝を放つべき極めて意

義深き年であると申さねばなりませぬ

我事變處理も日支の全面的國交調整を行ふ最高方針が明らかにせられ支那の新情勢に呼應して將に其の中核を衝き東亞の黎明を思はしむるものあるも吾等國民は振古未曾有の聖戰達成の爲には徒に戦捷に酔ひ或は又變轉測るべからざる國際情勢下において歐洲戰亂勃發の僥幸を夢みるか如きことなく事變が如何に長期に亘り如何に艱難が加はるとも益勇猛心を振ひ起し堅忍持久物心總動員の國策の大線に沿ひ國家の總力を擧げて一億一心生活の刷新改善に、物資の消費節約に貯蓄の勵行に努むると共に時局に對應して生産の擴充に力を致し經濟力の進展を圖り以て銃後の護りを強化し長期聖戰の目的完遂に協力せねばならぬことを痛感するものであります 吾が平市制施行は聖戰勃發と年を同ふするの機縁にあつて鋭意萬全の方策を以て諸般の施設遂行に努力を要するの秋であります、而して昨昭和十四年を回顧すれば事變の影響鮮少なからざるものありしと雖幸にして大なる蹉跌を見ることなく着々豫定の施設經營圓滿裡に進行しつゝあるは市民各位が協力援助の結果でありまして御同慶に堪えざると共に當局として深く感謝の意を表するものであります

今茲に二三の例を申せば數年來地方民待望の市立商業學校の新築は物價勞銀の騰貴資材配給不圓滑等の不便がございましたが校地七千四百七十八坪の廣潤なる敷地に新築を完成し躍進平市の學園として應はしき殿堂を見ましたことは地方實業教育の振興に寄與する所極めて大なるものあるを深く喜びとする所であります、又就學児童の増加に伴ひ前年より繼續事業としての第五小學校敷地埋立は目下工事中にして銃意督勵を加へ完成を待て校舎新築の計畫を進むる豫定であります

次に社會事業方面の公益質屋は運用資金三萬圓の起債を得て宇大町に事務所を新築し昨年十一月八日事業開始以來未だ日淺きも良好なる成績を辿りつゝありまして小口資金需要の市民大衆の利便に益する所尠からざるもの

あるを認むる實況であります、又市と連繫協力しつゝある社會事業助成會は宇三崎に授産所を建設し目下ミシン四十三臺を設備し主として出征軍人遺家族を作業に従事せしめ銃後の授産に良成績を挙げつゝありまして更に隣保館の建設は既に計畫を了り近く着工の運びに至るの現況であります之が實現の躰は本市社會事業の上に一段と擴充強化を加へ貢獻する所甚大なるものあるを信するものであります

更に軍事援護方面に在りましては軍事後援會を銃後奉公會と改組し市會議員、行政區長、在郷軍人會、青年團、方面委員、愛國婦人會、國防婦人會等を初め本市官民の和衷協力により出征軍人撤退迎軍人遺家族傷病將兵の慰問に努力奉仕に其の他援護事業に萬全の策を講じ日夜の別なく献身的努力を致され銃後の強化に奮闘せられつゝありますことは誠に感謝に堪えざる次第でありまして深甚なる敬意を表するものであります

又昭和十四年度三次に亘る防空訓練は警防團幹部並に指導員の熱誠なる指導と團員の緊張せる活動と更に家庭防空群の自發的猛訓練とは回を重ねるに従ひ防空動作は洗練せられ燈火管制を始めとし防火防毒救護等の訓練極めて良好なる成績を収め本市防空完備の上に大に意を強うするものありたるは御同慶に存すると共に團員諸君の勞を多とするものであります

其の他道路の改良溝渠の改造義務制實施による青年學校の充實青年團及防護團の組織變更精勵運動の協力等に相當の成果を収めましたことは誠に欣快に堪えざる所であります

翻つて市政の將來に深く思ひを廻すとき世運の進歩發展に伴ひ都市の社會的地位は益重きを加へ其の使命の大なるものあるに鑑み外近代都市の態形を整備し、内經濟力を充實して健全財政を確立することが最も緊要なりと痛感するものであります、即ち工場の誘致交通機關の整備對策商工業の振興方策の樹立を始めとし時局に際し最も重要な工業教育の施設に付ては舊年來努力しつゝあるを以て實現を見るを得べしと存じます、其の他教育

設備の改善刷新市民の体位向上保健衛生に關する施設並下水道の完備農作物の生産擴充社會教育機關の設備、平市區域の擴張之れ等の重要案件は何れも其の内容を爲すものでありまして之れが解決方途は須らく各階層の相剋摩擦を避け全市民渾然一體戮力協心以て目的達成に邁進の要あるを確信する次第であります

而して是等事業の完遂には人的要素に俟つの要あるは勿論であるが一面には物的要素たる健全財政の上に立脚することが極めて肝要でありまして特に時局下物資統制の強化と起債の柳制並び行はるゝ今日に在りては一層其の感を深くするものであります、故に健全財政の確立には其の源泉たる市民經濟力の培養充實に俟たねばならぬことは今更申す迄もない所であります

今や時局は益重大であり政府は國家の總力を動員して長期建設の目的貫徹に努め帝國將來の飛躍に備へつゝあるの秋吾等市民は躍進平市建設の大事業に直向してゐるのでありますこの難局を突破し其の使命を遂行することは吾々平市民に課せられたる一大試練であると申さねばなりません

職を公に奉ると否とを問はず其の責務の重且大なるを自覺し銃後の國民としての吾等は益結束を固めし寸毫の過怠無く不動磐石の意氣を以て聖戰目的完遂に邁進し上聖明に應ひ奉ると同時に平市民として市政の將來に對し深き理解を以て躍進平市の建設は懸つて吾々の双肩に在ることを自覺し三萬五千の市民各位と共に益健康に留意し各其の業務に精勵し和衷協同奉公の誠を竭くし以て市政の平和を保ち圓滿なる自治の發展向上に寄與せむことを念願するものであります

以上聊か蕪辭を陳へて新年祝賀の意を表する次第であります
昭和十五年一月一日

平市長 從五位 青 沼 餘 太郎
勳四等

參拾八圓	七拾貳圓	七拾壹圓	六拾八圓	五拾六圓	六級俸(五七圓)	月俸五拾參圓	五拾圓	三級俸(四七圓)	三級俸(四七圓)	月俸四拾圓	貳拾八圓	五拾七圓	五拾壹圓	五拾五圓	月俸四拾五圓	四拾貳圓	參拾貳圓	參拾參圓	書記ヲ命ス	書記ヲ命ス	書記ヲ命ス	書記ヲ命ス	書記補ヲ命ス	書記補ヲ命ス	書記補ヲ命ス	書記補ヲ命ス	書記補ヲ命ス	月俸貳拾參圓
技手	技手	技手	技手	技手	書記補	書記補	書記補	書記補	書記補	水道巡視	水道巡視	掃除監督	掃除監督	掃除巡視	掃除巡視	掃除巡視	掃除巡視	掃除巡視	書記補	書記補	書記補	書記補	書記補	書記補	書記補	書記補	書記補	書記補
神谷	井谷	藤井	佐藤	佐藤	八島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島
正典	昌訓	淺次郎	忠次郎	直次郎	二朗	綾子	龜之助	酒藏	榮一	道太郎	源亮	正志	嘉十郎	唯一郎	金太郎	信義	充宏	野宏	野宏	野宏	野宏	野宏	野宏	野宏	野宏	野宏	野宏	野宏

雇ヲ命ス 貳拾貳圓
 雇ヲ命ス 貳拾四圓
 昭和十五年一月十日
 給月俸參拾八圓
 財務課會計係勤務
 雇ヲ命ス 月俸貳拾五圓給與
 財務課勤務
 里見 榮一
 永山 實

區長代理者異動

市内第三十區長代理者左ノ通異動アリタリ
 病氣退任 松崎 忠衛
 推薦決定 福田 貞發
 昭和十四年十二月二十七日市會ニ於テ

振興委員選任

平市振興委員會規定第二條中委員「七拾人以內」ヲ「百名以內」ニ改正ノ結果増員選任方申請中ノ處昭和十四年十二月十四日付ヲ以テ左記ノ者平市振興委員ニ選任セラレダリ

川角 兼吉	星野 庸治	青木 甚平
山野邊 大五郎	山部 政治	花澤 久一郎
内藏 悌治	野本 龜吉	荻 榮藏
明智 榮司	鈴木 要七	佐藤 榮吉
中野 庄吉	酒井 政之助	灘波 甚藏
佐川 三郎	佐藤 榮次郎	野崎 喜八郎
石澤 茂	根本 一馬	上妻 實次郎

吉田 弘 鈴木 寶雄 會川 元次郎
 小野 寬美 小野 禎 小野 甚平
 渡邊 久 金成 留次郎 吉田 庄一

平市警防團訓練初式舉行

平市警防團訓練初式ハ一月一日午前七時消防詰所前ニ集合國旗掲揚服裝點檢ノ上午前八時縣社子歛倉神社々前ニ於テ國威宣揚無火災祈願市中梯子乗次テ市内驛前、公會堂附近ニ於テ各種綜合訓練ヲ行ヒ更ニ午後二時ヨリ公會堂ニ於テ團員表彰式ヲ舉行鈴木副團長開會ノ辭、國歌齋唱、默禱御令旨捧讀ノ後永年勤績者、本期開功勞者表彰、退職者記念品贈呈、團員中歸還軍人ニ對シ關内團長ヨリ慰勞ノ辭アリ次テ平警察署長ノ訓示、平市長鈴木(光)市會議員ノ祝辭、團長挨拶、受賞者答辭ニテ終了直ニ隔宴萬歲三唱頗ル盛大裡ニ閉會シタリ

方面強調週間實施

平市社會事業助成會ニ於テハ十二月二十二日ヨリ全國方面強調週間ヲ實施スルコト、ナリ市内各戸ニビラテ配付シ各方面委員夫々受持區域ニ就キ同情金ヲ募集シタルニ其ノ結果左ノ如ク良好ナル成績ヲ示セリ 而シテ右同情金數ハ舊年末ニ際シ惠マレサル人々ヲ救済スルコト、セリ

金六八九、三〇錢
 白米 二石五斗七升五合 此代金一〇八、〇〇 (合計七九七、三〇トナル)

謹告 【全國方面強調週間】

平市社會事業助成會は隣保相扶の醇風に則り互助共濟の精神を以て保護指導を任とする方面委員の事業を助成する篤志者を以て組織しました會であります

◎重大時局に際し銃後の護を願ふる爲め恵まれない人々の爲に特に御同情下さいまして救濟資金の御寄附を願います。左記日割により方面委員、區長、青年團員、愛國婦人會員が伺ひますから、別に配布した「同情袋」に入れて下さい。

十二月中文書收受發送數

庶學産兵戸社工財合	業務	業務	事務	事務	計
收受	四五八	四三三	八六	二二二	一、六二二
發送	二三一	三二三	二二八	一八六	一、六七六
計	六八九	四四六	二一四	四〇四	三、二九八

十二月中戸籍寄留件數

出生	死亡	婚姻	離婚	其他	本籍	非本籍	計
五六	三〇	三六	七	六七	一六	一一	七二
二一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	三七
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	六七

十二月中公會堂使用狀況

計	一九六	三八	二三四
戶簿謄抄本			二九一
閱覽			一四
證明			二〇
計			三二五
住所寄留			六六
出寄留			三八
計			一〇四
寄留謄抄本			一六
閱覽			二
計			一八

一、使用回数	二五
內有	二六
無料	三
市役所使用	六
使用料	一六七、六〇

公益質屋事業成績 (十二月分)

聯業	貸付狀況	辨濟狀況
勞働者	一二	五
俸給生活者	九	五
小工業者	八	二
小商人	一五	一
其他	七七	一八
計	一二一	三一

日用品小賣相場 (昭和十四年十二月末調)

品名	單位	價格	品名	單位	價格
白米一等	一キロ	三一〇	木炭(槽割)	一貫目	四四〇
同二等	〃	三〇五	同(雜丸)	〃	四三〇
同三等	〃	三〇〇	砂糖(白)	百匁	一七五
白麥	〃	一九〇	同(赤)	〃	一五〇
平麥	〃	二四五	同(黑)	〃	一五〇
味噌(並)	一貫目	八五〇	豚肉(上)	百匁	六〇〇
醬油(〃)	一升	五〇〇	同(並)	〃	四〇〇
清酒(〃)	〃	一七〇〇	牛肉(上)	〃	六〇〇
木炭(槽丸)	一貫目	四六〇	同(並)	〃	四〇〇

質物種類	口數	點數
債券	二〇七	五三
家具	八七	一一
裝身具	三〇	六五
衣類	一五三	〇〇
其他	五三	〇〇
計	四八〇	三九
金子	一、六二四、四〇	七二
利子	四六四	二二

市 會

十二月二十七日市會開會附議事件左ノ如シ

- 一、昭和十四年度平市歲入出追加更生豫算
- 一、平市火葬場使用條例設定ノ件
- 一、企 火葬場管理規則設定ノ件
- 一、寄附採納ノ件
- 一、區長代理者辭任認定ノ件
- 一、區長代理者推薦ノ件

委 員 會

- 一月四日 工業學校委員會
- 〃 十一日 工業學校委員會

昭和十五年一月十五日

發行所 平 市 役 所

發行人 青 沼 鋒 太 郎

印刷者 川 崎 文 治

印刷所 常磐每日印刷株式會社

電話 六三〇番